

それが岐阜県でした。
—自分の思いを実現できる場所、
人を支えたい

Round-Table
Talk

若手職員



技術職
(土木)



資格免許職
(保健師)

参加
メンバー

道路建設課

古川 凌雅

配属歴

R4年 採用 現所属

岐阜保健所

田中 柚葉

配属歴

R4年 採用 現所属

岐阜県庁を選んだ理由は？

九野 私は子どもが好きで、幅広く子どもを支える仕事がしたいと愛着のある岐阜県の行政職になろうと決めました。

古川 僕は、中学生の時に県の林政部主催のイベントで河川環境を守るために森林の間伐が大切だということを学んだんです。そのときに県職員の方が、すごく楽しそうに自分の仕事の話をしてくれて。そのことが岐阜県で働いていいなという印象となって残っていたので、生まれ育った岐阜で働きたいという思いと、人が普段の生活で当たり前に使っている道路や堤防といった社会基盤をつくりたい、自分の技術で県民の安全で安心な生活に貢献したいという思いで入庁しました。

足立 僕も、入庁を決めたのは地元で貢献したいという思いからでした。いわゆる第二新卒で入庁しているのですが、学生時代が一番楽しそうな場所で働きたくて大学卒業後、大阪で働いていました。ただ、親や友だちもいる岐阜にはやはり愛着が

あって、いつかは戻ろうかなと考えていて。そのうちに、岐阜県の人口が200万人を下回るようになったんですね。自分の親や友だちが衰退していくところで暮らしてほしくない。そんな気持ちを抱いていたときに県行政がインバウンドだSDGsだといって岐阜を盛り上げていくために努力していることを知ったんです。だったら、岐阜に帰って、県職員として自分も岐阜の暮らしをよりよくすることに貢献したいと思い、行政Ⅱの試験を受験しました。

田中 私は、皆さんと違い他県で育ち、看護学校に通うために初めて岐阜県で暮らしました。その後、保健師の資格を取るために岐阜を離れたのですが、就職先を選ぶ時期になり、どの自治体で保健師として働くかを考えたとき、今まで暮らした場所の中で、一番ココがよかったです。岐阜県の方は、すごく優しく穏やかで、未熟な自分を優しく受け入れてくれた。そんな皆さんに恩返しをしたいと思い岐阜で働くことを決めました。

どんな仕事を体験しましたか？

九野 入庁一年目の企業誘致課では民間企業の営業職のような仕事をしました。県外企業に出向いて新たな企業を誘致する

座談会

4人の先輩たちに、
岐阜県庁で働く魅力について聞きました。



行政職
(行政II)



行政職
(行政I)

航空宇宙産業課
足立 雅規

配属歴

R3年 採用 管財課
R5年 現所属

私学振興・青少年課
九野 絢圭

配属歴

H31年 採用 企業誘致課
R3年 高齢福祉課
R5年 現所属

ために県の環境の良さをPRする前向きな仕事で、すごく楽しかったです。入庁前は知らなかった「こんな仕事もやるんだ。」と思うこともたくさんありました。イレギュラーな業務では、豚熱の対応や新型コロナウイルス感染症関係業務なども経験しています。どんな仕事もしんどいところはありませんでしたが、誰かの役に立っていると実感できるものでした。そんなところが県の仕事の魅力だと思います。

田中 私もコロナ禍では直接県民の方とお話をして入院調整などをしました。今も疾病によっては一人の県民と長く関わることがあります。この方のお役に立つことができたと考えたときは、これが保健師の醍醐味なのかなと、とてもうれしい気持ちになります。また、県の保健所の業務では難病対策や健康増進など、専門的な取組を進める役割を担っているので自分の知識が広がっていく面白さを感じています。

古川 僕は、知事が県の高速道路づくりに向けて国に要望書を提出するための事務を担当しています。まだ経験が浅いので責任が重いとは思いますが、年齢に関係なくチャレンジさせてもらっていることは正直うれしいです。道路や橋といった構造物は何年もかけて多くの方との協力によりつくられるので、

いずれ技術者として県民のために力を尽くすときに、今経験していることが役立つだろうなと思っています。

足立 僕は岐阜かかみがはら航空宇宙博物館に今後どのようなものを展示していくか検討しているのですが、来館した方に楽しんでもらえ、何十年も残っていくものに関わることができていることに喜びを感じています。



職場のサポートは？

足立 僕が民間企業を経験して県職員になって、最も実感したことは発言の重さでした。外部に発言する自分の意見は県としての言葉になる。適当にはできない。きちんと法律、規定を踏まえて、正しいことを伝えないといけない。そのことをOJTや研修で理解したんですが、自分は行政経験もないので、そんなに法律の知識もなくて、入庁当初は不安になりましたね。ただ、僕の周りには法律の知識が豊富な行政のスペシャリストがたくさんいるんです。係長や同僚がサポートしてくれて。わか